

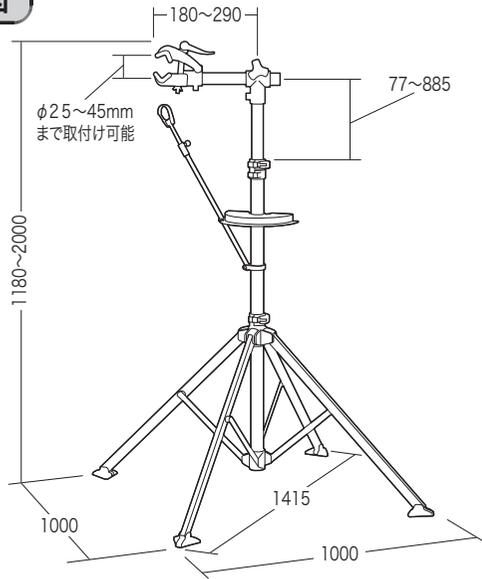
この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
この自転車用サイクルワークスタンドは組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。
バックグケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も
大切に保管してください。**

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

★用意していただくもの・・・
手袋（組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください）

完成図

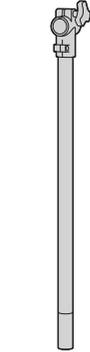


総耐荷重 30kg

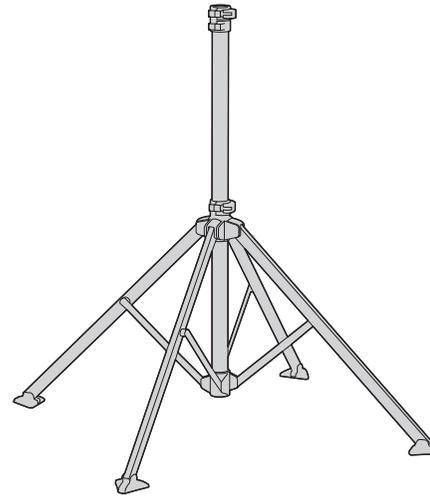
組立て部品



自転車クランプ×1本



伸縮ポール×1本



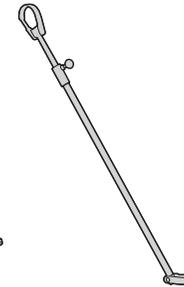
脚部フレーム×1本



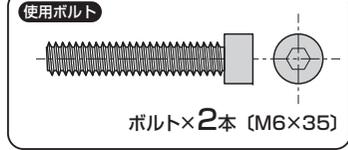
六角レンチ×1本



工具受け皿×1個



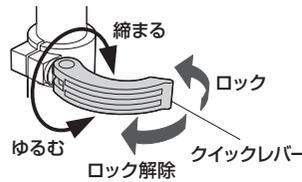
ハンドル支えバー×1本



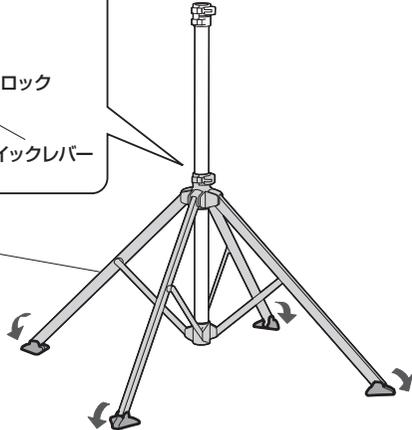
- ### ▲ 使用上の注意 ▲
- 最大耐荷重を超えてしまうと、自転車を落として損傷する危険があります。
 - 十分に安定した場所に設置するようにしてください。全体のバランスが悪い場合や傾きのある場所では転倒の恐れがあります。
 - 自転車を本製品に設置しているときは、絶対に自転車に乗ろうとしないでください。
 - 自転車を本製品に設置したまま高さや角度を変えないでください。再度、高さや角度を調整する場合は、自転車を降ろしてから行ってください。
 - スタンド各部の取付け金具がきちんと締まっているか確認してください。特に、伸縮ポールのノブボルトが十分締まっていることを確認してください。
 - 直接自転車のフレームを締め付けるのが気になる方は、柔らかい布やテープなどをあててから、締め付けることをおすすめします。
 - 自転車へのダメージを回避する為に、チタンフレームや薄型アルミフレーム等は締め付けすぎないように十分気を付けてください。
 - 本製品の故障、またはその使用によって生じた事故や直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。あらかじめご了承ください。
 - 用途以外には使用しないでください。
 - 本製品を分解・修理・加工・改造はしないでください。
 - 本製品に強い振動や衝撃、無理な力を与えないでください。
 - 作業を行う際は、必ず水平な場所でスタンド及び自転車を安定させた安全な状態で作業を行ってください。
 - 作業を行う際は、周りに危険物(火気、ガスなど)がないか、確認した上で作業を行ってください。

1 脚部フレームを広げて設置します。

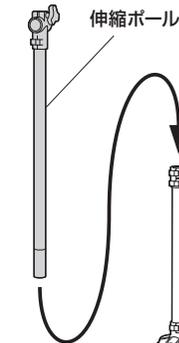
下側のクイックレバーをゆるめると脚部フレームの幅を調節することができます。調節後は必ずクイックレバーを締め、ロックします。



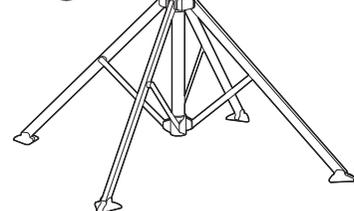
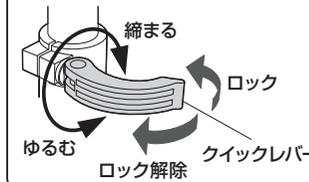
脚部フレーム



2 伸縮ポールを取付けます。

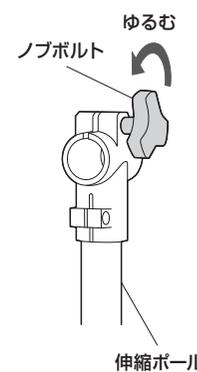


上側のクイックレバーをゆるめると伸縮ポールの高さを調節することができます。調節後は必ずクイックレバーを締め、ロックします。

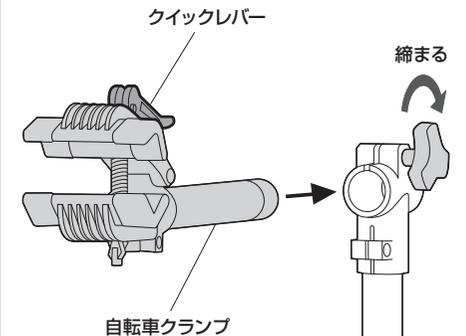


3 自転車クランプを取付けます。

①伸縮ポールのノブボルトをゆるめます。

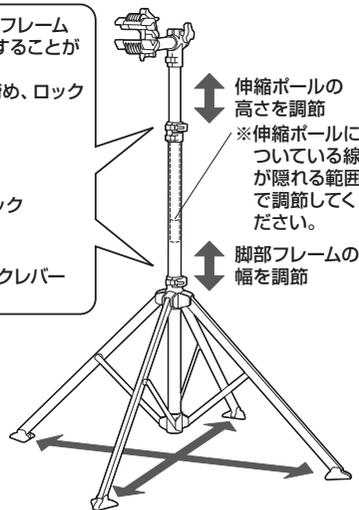
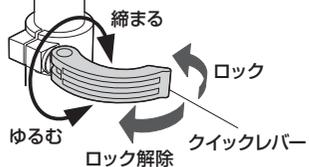


②自転車クランプのクイックレバーが上になるように取付けます。



4 高さと幅を調整します。

クイックレバーをゆるめると脚部フレームの幅や伸縮ボールの高さを調節することができます。調節後は必ずクイックレバーを締め、ロックします。



伸縮ボールの高さを調節
※伸縮ボールについている線が隠れる範囲で調節してください。

脚部フレームの幅を調節

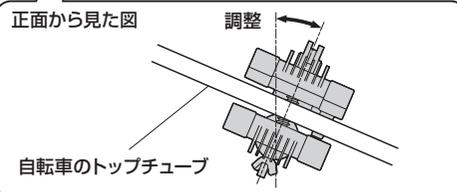
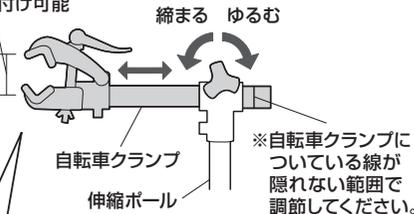
※十分に安定するように設置してください。全体のバランスが悪いと転倒の恐れがあります。

5 自転車を固定します。

※取付け可能な自転車のトップチューブの直径はφ25~40mmです。

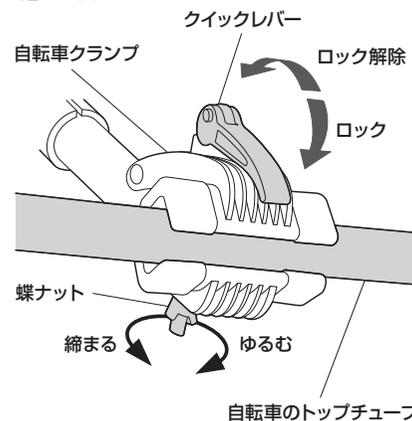
①自転車クラムの前後位置と角度を調節します。

φ25~45mm
まで取付け可能



※スタンド各部の取付け金具がきちんと締まっているか、確認してください。特に、伸縮ボールのノブボルトが十分締まっていることを確認してください。

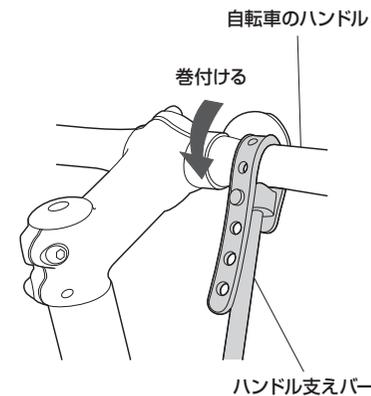
②自転車クラムに自転車のトップチューブをはさみ込みます。



※自転車を本製品に設置したまま、高さや角度を変えないでください。再度、高さや角度を調整する場合は、自転車を降ろしてから行ってください。

6 自転車のハンドルにハンドル支えバーを固定します。

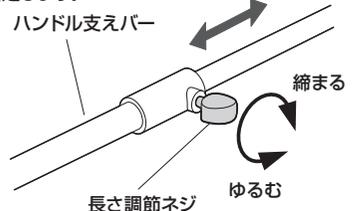
ハンドル支えバーの両端についているベルトの片方を自転車のハンドルに巻付けて固定します。



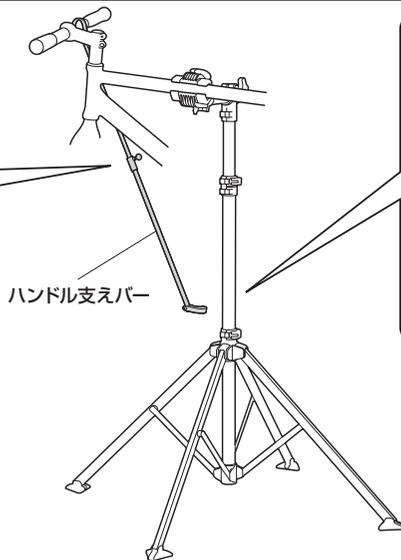
※ハンドルの太さに合わせて適切な位置の穴に突起を引っ掛けて取付けてください。

7 ハンドル支えバーを支柱に固定します。

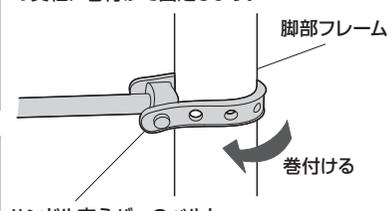
ハンドル支えバーの長さを調節してハンドルを固定します。



※長さ調節後は長さ調節ネジをしめて固定してください。



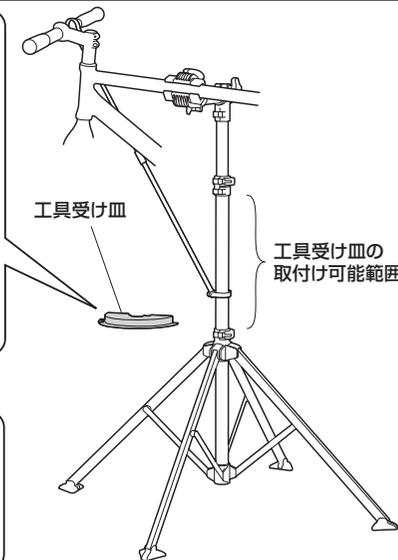
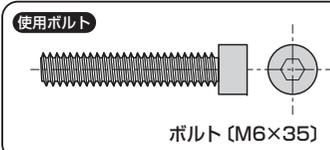
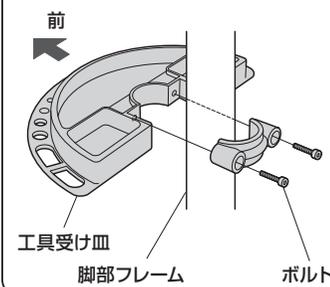
ハンドル支えバーのもう片方のベルトを本製品の支柱に巻付けて固定します。



※先端から1個目が2個目の穴に突起を引っ掛けて取付けてください。

8 脚部フレームに工具受け皿を取付けて完成です。

工具受け皿は脚部フレームの任意の高さに取付けます。



製品に関するお問い合わせ
製品の品質管理には細心の注意を払っていますが、万一、不都合な点や製品に関するお問い合わせなどございましたら、お買求めの販売店又は右記までお気軽にご相談下さい。

BF/AB/RKDC

サンワサプライ株式会社

サンワダイレクト / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1
TEL.086-229-5680 FAX.086-235-2361